

# シチュエーション2： 論文データベース検索結果から

卒論・研究きちんとスタート！シリーズ②

2021.6 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当



2つ目のシチュエーションとして、論文データベースの検索結果から、フルテキストを入手する方法をみてみましょう。

## まず手始めに： データベースの本文リンクボタンをチェック

例： CiNii (サイニィ) Articles [検索結果画面](#)



卒論・研究きちんとスタート②フルテキスト入手法

早速ですが、これは日本語論文を探すときの定番データベース、CiNii Articlesの画面です。

CiNii Articlesにはこのようにオレンジ色のリンクが付いていることがあります。

例えば、この「機関リポジトリ」というリンクをクリックした先でPDFを開くことができます。これで、フルテキストが入手できます。

とても簡単ですね。

# まず手始めに： データベースの本文リンクボタンをチェック

## CiNii Articles の例



本文入手 ?

上記以外のリンク先  
リンクボタンなし

一応押してみてもよい。

うまく入手できないときは  
次のページの方法へ！

卒論・研究きちんとスタート②フルテキスト入手法

注意してもらいたいのは、CiNii Articlesに限らず、各種データベースではさまざまに論文フルテキストリンクボタンを表示していますが、これらはあくまでデータベース側で設定しているものだということです。阪大がその電子ジャーナルを購入しているかどうかとは関係ないので、クリックしても利用できないことがあります。また、阪大で利用できるものにもリンクが付いていないことがあります。

ではどうすればよいのでしょうか。実は、阪大で論文フルテキストが手に入るかどうかを判定するためのボタンというものがあります。

## 電子 or 紙の雑誌が阪大で使えるか確認

検索結果に表示されている以下のボタンをクリックしましょう！

CiNii Articles、Web of Science Scopus、MEDLINE etc.	
JDreamIII	 → 
SciFinder	 → 
Google Scholar	

卒論・研究きちんとスタート②フルテキスト入手法

それがこのOsaka Uといういちょうマークです。CiNii Articlesも含めて、多くのデータベースでこのいちょうマークが表示されます。このボタンをクリックすることで電子ジャーナルや紙の雑誌が阪大で使えるかどうかをチェックすることができます。

基本的にはいちょうマークなのですが、一部のデータベースでは、ここに示すように、ボタンの表示が異なっていたり、表示が無かったりしているのでご注意ください。

1つ例を見てみましょう。

【動画教材では、CiNii Articlesでの操作を実演しながら解説しています。】

こちらの論文は、先ほどのようにオレンジ色のリンクが無いので、論文フルテキストが入手できないように見えます。ところが、Osaka Uボタンをクリックすると、論文フルテキストへのリンクが表示されます。実はPDFファイルを利用できる論文でした。こういったケースもありますので、Osaka Uボタンをクリックして確認する、という癖をぜひ付けてください。

# 電子 or 紙の雑誌が阪大で使えるか確認

Osaka U. いちようマーク等を押すとこの画面に

## 大阪大学 電子リソースリスト

文献情報  
論文名: 地域で医師を育てる (特集 へき地医療を考える: 日本のへき地を支えるプライマリ・ケア医の重要性) -- (専門職連携教育)  
著者名: 平井 毅山  
掲載誌名: 治療  
ISSN: 0022-5207  
巻: 96 号: 1 ページ: 53-57

大阪大学で利用できるか調べる

Medical Online Library でフルテキストを見る  
巻: 96 号: 1 開始頁: 53  
Available from 1973 volume 57 Issue 3  
Most recent 12 month(s) not available

大阪大学の所蔵を確認する

大阪大学蔵書検索  
1冊みつかりました。  
雑誌(00225207)  
記号番号 所蔵巻次  
生年号 [29-35,36(1-6),37-58,59(1,3-12),60-62,63(1,3,5-12),64-67,68(1-6,8-12),69-100,101(1-4) (1947-2019) +

学外から文献を取り寄せる(学外取寄せ)

学外からの文献取寄せ  
学外からの文献取寄せサービスです(無料)。大阪大学に所蔵していないことを確認してからお申し込みください。

【本文を見る】  
電子ジャーナル(契約 or フリー公開)があればリンクが表示される  
※利用可能範囲に注意(灰色字)

【大阪大学の所蔵を確認する】  
紙の雑誌が阪大にあれば蔵書検索画面へのリンクが表示される  
※雑誌名をクリックすると、蔵書検索画面に行きます。

【学外から文献を取り寄せる】  
電子ジャーナルも紙の雑誌も無いときは、「ILLサービス」を利用

卒論・研究きちんとスタート②フルテキスト入手法

Osaka Uボタンをクリックすると、このような「大阪大学電子リソースリスト」という画面に進みます。先ほども一度出てきましたね。この画面についてもう少し紹介します。

色分けしていますが、大きく3つの部分に分かれています。

1つ目が「本文を見る」という部分です。

ここでは、電子ジャーナルが利用できるかどうかを判断します。

枠の下のグレーの Available from の部分を確認してください。この範囲から外れている巻号の場合、フルテキストを入手することはできません。

「本文を見る」にリンクが表示されない場合、次は「大阪大学の所蔵を確認する」のところを見てみましょう。

ここでは、阪大に紙の雑誌が所蔵されているかどうかが表示されます。

雑誌名をクリックすると蔵書検索(OPAC)の画面に行きます。ここでも読みたい論文の載っている号の所蔵があるかどうかを確認してください。

紙の雑誌の所蔵も無い場合は、「学外からの文献取寄せ」という手段もあります。

この後、「ILLサービス」として詳しく紹介します。

## まとめ：論文データベース検索結果から

### ★POINT

データベース検索結果からフルテキストを入手するときは、

**検索結果からの本文リンクをクリック**

本文リンクが無いときやリンク先がダメなときは、

 **アイコンをクリック**

⇒電子ジャーナルも紙の雑誌もまとめて探せます。



卒論・研究きちんとスタート②フルテキスト入手法

2つ目のシチュエーションとして、論文データベース検索結果からフルテキストを入手する方法を紹介しました。

Osaka Uボタンをクリックして、利用できるかどうか確認してみてください。